

# 令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各種事業の中止・延期を余儀なくされたことにより、計画どおりに事業を推進することができませんでした。

特に高齢者対象の事業や飲食を伴う事業については、会場の使用ができないといった点や感染のリスクが高まるといった複数の課題があり、会食会をはじめふくしの会などが進めてきたサロン活動の推進は困難な状況となりました。

一方で、通院時の送迎を行う移送サービスについては、感染リスクは高いものの治療や服薬を中断できないといった理由で通院される方々が多くいられました。感染予防対策を実施するとともに緊急事態宣言下では職員対応で事業を継続しました。

また、生活福祉資金貸付事業では、新型コロナウイルスの影響で休業や退職により生活が困窮した世帯に対して特例の貸付を行い支援を続けています。

新たな取組としては、これまで視察や研修会を開催して検討を進めてきた「買物支援事業」を試行的に実施するとともに、試行後には利用者等へのアンケート調査を行い令和3年度の本実施へこぎつけました。

ケアセンター事業については、4月から9月までの休止期間中に「再開」又は「廃止」の判断を余儀なくされ、内部での検討を重ねるとともに、近隣市町の介護保険事業の経営状況を視察しました。最終的に関係者の参画を得て検討会を開催し理事会にて事業廃止となりました。

法人後見事業の立上げへ向けては、準備委員会を立ち上げて協議・検討を重ね、令和3年度中の受任体制の構築へ向けた準備を進めています。

## 1. 地域福祉活動推進部門

- ◆生活支援コーディネーター事業として、これまでの調査・協議・検討を踏襲し、優先的な生活課題に対する試行事業を実施しました。
- ◆地域共生社会の実現に向けて、福祉と他の関連分野との連携・協働が求められている中で、今回の試行実施にあたり、他町の商工会等との連携が図れたことは、相互の理解促進につながるるとともに今後の連携・協働のきっかけとなりました。

### (1)生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)設置

目的	地域のニーズを把握しサービスや活動につなげる。また、既存活動や関係機関のネットワークを強化するとともに、社会資源の把握とニーズに応じて新たな活動・資源を開発する。		
目標	・新たな生活支援のしくみづくりへ向けた検討や研修会の開催 ・買い物支援活動の推進 ・生活支援の担い手養成・修了者の活動推進	評価	◎

#### ①生活支援コーディネーターの設置

生活支援体制整備事業を町より受託し、生活支援コーディネーターを設置しています。

受託の初年度より取り組んでいる「社会資源一覧表」を更新し関係者へ配付しました。

「はじめの一步講座」を開催し、担い手の養成を図るとともに、優先的に取り組む生活課題として

- ①ゴミ出し、②買物等外出支援、③話し相手や地域の居場所を解決するための取組を進めました。

#### ②生活支援ニーズとサービス等のマッチング

既存サービス利用者等から生活支援ニーズの聞き取りを行うとともに、生活応援隊や買物支援事業へマッチングをしました。

また、認知症カフェの参加者の送迎についても、サポーター等を通じて実態を把握するとともに、移送サービス運転ボランティアの活動につなげるなど、課題解決へ向けたマッチングをしました。

事業名称等	内容
社会資源一覧表のデータ更新・追加	◎既存のデータを更新 ◎買物に関する情報を追加 ◎掲載内容の検索をしやすいするため、目次を追加 ◎民生委員児童委員をはじめ、町内・外の居宅介護支援事業所へ配付(45事業所)
生活支援提供者フォローアップ	◎「はじめの一步たより」を発行し、修了者等の活動を紹介 ◎コロナ禍における新たな活動を紹介 ◎生活支援担い手養成研修への案内

### ③新たなサービスの試行・開発

これまでの調査結果等を基に、協議・検討を進めてきた「買物支援事業」について、第1弾として、松田町の「移動販売車」が大井町内の拠点で試行的に販売を行いました。毎回職員を現地に派遣し、利用状況を把握するとともに、利用者の声を収集しました。

また、第2弾として、「買物ツアー」を移送サービス運転ボランティアの協力を得て実施しました。

事業名称等	期 日 等	内 容
課題解決へ向けた新たな資源の開発へ向けた調整		◎松田町の移動販売車によるテスト販売の実施(運行:足柄上商工会松田支部) ◎買物ツアーの試行運行開始 ◎松田町観光経済課並びに足柄上商工会松田支部との協議・調整
移動販売	5月13日(水)～7月29日(水)の間、毎週水曜日全12回	◎松田町移動販売車の空き時間を利用して大井町での試行販売を企画・調整 ◎食料品アクセス困難地区を中心に、町内の12自治会に拠点を選定(当該地区自治会長、民生委員、ふくしの会会長等参加) ◎6月17日から、吉原自治会を追加 ◎相和地区方面245人、金田・曾我地区方面246人が来場 《今後の課題》 ◆移動販売の実施頻度。毎週実施するための拠点の再選考 ◆本実施へ向けた予算の確保
買物ツアー	9月24日(木)～11月26日(木)の間、毎週木曜日全10回 ヤオマサ大井町店・ヤオマサあしがらモール店	◎移動販売利用者を中心に30名の登録者で開始 ◎町内のヤオマサへ送迎 ◎社協の8人乗り車輛を使用 ◎運転は移送サービス等の登録ボランティアの協力 ◎延べ利用人数 79名(実利用人員26名) 《今後の課題》 ◆ドライバー並びに事業に適した車輛の確保 ◆利用者負担金の金額設定

### ④生活支援担い手養成

事業名称等	期 日 等	内 容
はじめの一步講座 (令和元年度分)	9月4日(金) 生涯学習センター	テーマ:～助け合いながら楽しく過ごせる地域づくり～ 活動の原点は地域の「声」 講 師:白岩正明 氏(認定NPO法人若葉台理事長)  町民等 24名の参加
生活支援担い手養成 研修会講師との打合せ会	10月16日(金) 南足柄市りんどう会館	◎「おたがいさまネットみなみ」の活動について ◎当日の資料並びに進行について ◎グループワークについて
はじめの一步講座	11月30日(月)  12月 1日(火) 生涯学習センター	テーマ:「おたがいさまネットみなみ」の活動状況について 講 師:おたがいさまネットみなみ 会長 永田米昭 氏 他4名 テーマ:①大井町の地域福祉課題・活動の取組状況 講 師:大野祐子 氏(大井町包括支援センター職員) テーマ:②町内の活動実践紹介等 講 師:大沢栄 氏、西出輝好 氏  町民 延べ67名の参加(15名が修了されました)

### (2)小地域福祉活動推進事業

目 的	自治会を単位とした生活圏域での福祉活動の推進		
目 標	助成金の要綱を改正し、既存の活動への支援を継続するとともに、新たな居場所づくり活動等については助成金の加算枠を設けて活動を促進する。 地域活動の情報提供を目的に毎月「ふくしの会通信」をふくしの会役員などに送信するとともに、メールを送信する役員を増やしていく	評 価	○

### ①小地域福祉活動推進組織助成金交付・連携・協働

自治会を単位に小地域福祉活動推進組織として指定し、各地域の特性に応じた活動を展開しています。今年度は13の組織に総額1,004,000円の活動助成金の交付を行いました。併せて、重点事業には「支えあい活動推進事業助成金」にて、7組織に102,000円を助成しました。

地域の要請に応じて担当職員を派遣し、各地区の事業・活動を支援する計画でしたが、今年度は、コロナ禍において年度当初より各組織の活動が休止される事態となりました。緊急事態宣言が解除された6月以降、ふくしの会の活動を実施するための留意事項をご提示し、活動の再開に向けた支援を行いました。7月以降、徐々に活動が再開されはじまりましたが、1月に再び緊急事態宣言が発令されてからは、活動が休止状態となりました。

町福祉課からは、地域活動における衛生用品の不足調査が行われ、必要としている地域へマスクなどの衛生用品を提供いただき配付いたしました。

併せて、地域活動の情報提供を目的に毎月「ふくしの会通信」をふくしの会役員など約80人にメールにて送信しています。

#### 【各地区への主な支援状況】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、これまで推進してきた地域の居場所づくりを自粛・中止せざるを得ない状況となりました。緊急事態宣言が解除された際には、活動再開へ向けて、「通いの場を再開するための留意点」の周知やアルコールやマスクを配付しました。また、新たな活動の情報収集や支えあい活動の創出にむけた調整を行うために活動場所に出向きました。

地区名	期日・会場	内容
西大井ふくしの会	8月3日(月) 西大井自治会館	・小学生体験学習交流活動に参加
新宿ふくしの会	11月10日(火) 新宿自治会館	・にじいろの会に参加
市場ふくしの会	11月18日(水) 市場自治会館	・市場カフェに参加
馬場ふくしの会	11月20日(金) 馬場老人憩いの家	・ひまわりサロンに参加
上山田福祉推進協議会	3月11日(木) 町道8号線沿い花壇	・ありがとう記念花壇開園式に参加

#### 【指定地区】新宿・河原・根岸上・根岸下・市場・馬場・金手・上大井・西大井・篠窪・柳・上山田・中屋敷

名称	区分	内容等
新宿ふくしの会	主な事業	・にじいろの会(どなたでも参加できるサロン、毎月10日) 4回開催 延べ78名参加 ・ふれあいサロンを1回開催 20名参加
	広報	・4回発行(6月 第33号 9月 第34号 12月 第35号 3月 第36号) (カラー発行)
河原ふくしの会	主な事業	・ふれあいサロン(毎月第4火曜日) 6回開催 ・ペタンク大会(11月実施)39名参加
	広報	・1回発行(3月 第23号)
根岸上自治会 福祉悠々部会	主な事業	・自治会員相互の結びつきや世代間交流を計画
根岸下ともしびの会	主な事業	・世代間の交流に重点をおき「お楽しみ交流会」や「敬老の集い」を計画
市場ふくしの会	主な事業	・ICHIBA DE CAFÉ(定期的なサロン)3回開催 延べ72名参加 ・春と秋の花壇づくりを実施 延べ58名参加
馬場ふくしの会	主な事業	・ひまわりサロン(毎月1回定期的に開催) ・折り紙の会(4回)を計画
	広報	・1回発行(1月 第29号)

名 称	区 分	内 容 等
金手ふくしの会	主な事業	・カフェかなで(定期的なサロン)を計画 ・高齢者支援事業として、俳句の会を5回開催
	広報	・1回発行(5月 第53号)カラー発行
上大井 福祉わかばの会	主な事業	・ふれあい花の道(毎月第1土曜日) 延べ127名参加 ・ふれあい里山(黒豆やミカン、玉ねぎ収穫) 延べ88名参加
	広報	・1回発行(1月 第36号)カラー発行
西大井ふくしの会	主な事業	・井戸端いきいきサロン(毎月第3木曜日)を6回開催 延べ92名参加 ・子育てスクスク応援隊を3回開催 延べ179名参加 ・小学生体験学習交流活動 20名参加
	広報	◎3回発行(6月 第67号 12月 第68号 3月第69号)カラー発行
篠窪ふくしの会	主な事業	・自治会館花壇の植え替えを実施 ・敬老の祝い品を配布 30名参加
柳ふくしの会	主な事業	・70歳以上の方に敬老祝品進呈の実施。対象者20名 ・交流事業として、県道グリーンベルトの花植えや草刈りを実施
上山田 福祉推進協議会	主な事業	・世代間交流事業として里山ガーデンを計画 見守り花壇の整備 ・ありがとう記念花壇の整備
中屋敷ふくしの会	主な事業	・世代間交流事業として夏祭りやどんど焼きなどを計画

## ②小地域福祉活動推進組織連絡会の開催

小地域福祉活動推進組織で連絡会を構成し、活動の充実をねらいとし情報交換や交流・連携を図ることを目的に開催しました。

名 称	期 日・会 場	内 容
小地域福祉活動推進 組織連絡会	11月11日(水) 保健福祉センター	◎コロナ禍における各地域の活動状況について ◎地域内での支えあい活動について ◎生活支援担い手養成研修の開催について

## (3) ボランティアセンター事業の拡充

目 的	ボランティア活動をより多くの町民に広げるため、普及・啓発事業をはじめ、各種養成講座等を開催しボランティア活動を推進します。		
目 標	・運転ボランティア養成講座(参加者5名) ・傾聴ボランティア養成講座(参加者30名)	評 価	○

## ①ボランティア登録相談・連絡調整

ボランティアセンターとして、ボランティアに関する相談・支援や必要に応じた派遣調整を行いました。新型コロナウイルスの関係で、高齢者施設等からの派遣相談・依頼がありませんでした。

内 容 等	相 談 件 数	登 録 件 数
◎移送サービス運転ボランティア	5 件	5 件
◎生活応援隊協力員	11 件	11 件
合 計	16 件	16 件

## ②ボランティアグループ等への活動支援と助成

既存ボランティアグループ3団体へ活動費を助成するとともに、スキルアップのための研修会の開催へ向けた連絡・調整や講師料など支援を行いました。(3団体へ総額 15万円助成)

名 称	期日等	内 容
傾聴あしがら	3月30日(火)	◎活動休止時、活動意欲を無くさないために、日本傾聴ボランティア研究センターのメールマガジン等を会員に送付しました。 ◎活動再開へ向けて役員会の開催や会員への通知等支援を行いました。

### ③ボランティアの日の見直し

- 毎月23日をボランティアの日と制定し、各種ボランティア活動を推進しています。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止により、小・中学生の登校時に学校へ訪問し回収する活動を自粛しましたが、各校で活動が定着しており、独自にペットボトルキャップやベルマーク等の収集活動が継続されています。
- 公共施設に設置している回収ボックスからペットボトルキャップ・インクカートリッジ等を回収しました。

期 日 等	場 所	内 容
新型コロナウイルス感染予防対策として、定期的な回収を行わず、随時対応しました。	町内小中学校及び公共施設	小・中学校、公共施設にてペットボトルキャップ等回収。 【令和2年度実績】 ○ペットボトルキャップ 1,120kg ○ベルマーク 74,200点 大井小学校備品購入 (スカッドボーイⅡ、黒板消しクリーナー)

### ④ボランティア養成講座の開催

名 称	期日等	内 容
移送サービス 運転ボランティア 養成講座	12月13日(日) 生涯学習センター	認定NPO法人かながわ移動サービスネットワークとの共催により、標記講座を開催しました。 内 容: 福祉有償運送/セダン等運転者 認定講習会  参加者16名 うち大井町在住の5名がボランティア登録されました

### ⑤災害ボランティアセンターの拡充

- 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しに着手しましたが、新型コロナウイルス対策やそれに伴うICT導入など、新たに検討を要する項目が増えたことにより、令和3年度も継続して見直しを進めます。
- 災害ボランティアセンターの設置・運営時に活用するICTの導入へ向けて、積極的に情報収集や研修に参加するとともに、先駆的に取り組んでいる社協(静岡県小山町)への視察を行いました。

## (4)第3次地域福祉プランの進行管理

目 的	地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体計画である地域福祉プランの第3次計画を推進		
目 標	進行管理委員会を開催し、計画の進捗状況を確認・評価し計画を推進する	評 価	○

### ①進行管理委員会等の開催

第3次地域福祉プランの進行管理並びに中間見直しを行うことを目的に、書面にて委員会を開催するとともに正副会長会議・町福祉課との協議を行いました。

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容 等
第3次地域福祉プラン進行管理委員会(書面協議)	10月	◎地域福祉プランの評価について ◎地域福祉プランの中間見直しについて
正副会長会議	12月3日(木) 保健福祉センター	◎各委員からの意見書のまとめについて
福祉課との打合せ	7月1日(水) 保健福祉センター	◎委員会設置要綱や委員候補者について ◎評価資料について ◎委員会等の開催について
	9月18日(金) 保健福祉センター	◎評価資料について ◎今後の委員会スケジュールについて
	10月15日(木) 保健福祉センター	◎計画見直しに伴う意見書について ◎地域福祉プラン評価表・第3次地域福祉プランについて ◎今後の委員会スケジュールについて
	11月25日(水) 保健福祉センター	◎地域福祉プラン評価表について ◎地域福祉プランへの反映項目について ◎広報周知について ◎正副会長会議について

## (5) 支えあいのまちづくり推進委員会の設置

目的	「地域診断協働事業」の成果を活かし、住民自身が地域の課題に気づき、一人ひとりがその人らしく暮らしていける地域づくり		
目標	委員の主体的な参加により、アセスメントの結果等を地域の活動につなげるための具体的な取組やしくみづくりについて協議する	評価	○

平成28年度に実施した「地域診断協働事業」の成果を活用し、地域課題に気づき、一人ひとりがその人らしく暮らしていける地域づくりに向けて「支えあいのまちづくり推進委員会」を設置し開催しました。

事業名称等	期日・会場	内容
第1回支えあいのまちづくり推進委員会	7月7日(火) 生涯学習センター	◎買物支援におけるこれまでの調査等の内容について ◎移動販売車「くるまつくん」について ◎今後の買物支援のあり方について

## (6) 広報・啓発活動、情報提供の充実

目的	福祉に関する、サービス・ボランティア・地域活動等のタイムリーな情報を発信し、福祉への理解・参加を促進する		
目標	・福祉みんなのつどい・ボランティアフェスティバルの開催 ・「社協おおい」の発行(年6回) ・社協ホームページ・ブログの定期的な更新	評価	○

### ①福祉みんなのつどい・ボランティアフェスティバルの開催

内容
新型コロナウイルス感染拡大防止により、本事業を中止しました。

### ②広報紙の発行

社協活動の周知・福祉情報の提供、住民の福祉意識の高揚を図るため、広報紙「社協おおい」を隔月(奇数月の15日)で発行し、町内の自治会加入世帯及び賛助会員、関係機関に配布しました。

号数・発行期日	主な内容	
各号共通掲載記事	●ようこそボランティアセンターへ ●善意の寄託金品	●社協カレンダー ●広告(8社)
第181号 5月15日	表紙：自宅でできるボランティア活動紹介 ◎令和2年度事業計画・予算 ◎大井町身体障害者福祉協会案内 ◎ささえあい応援隊(vol.3)	◎ボランティア活動紹介 ◎かざみどり活動紹介
第182号 7月15日	表紙：早朝ラジオ体操の様子 ◎生活応援隊リニューアルのご案内 ◎令和元年度事業報告、決算報告 ◎社協会費納入のお願い	◎くるまつくんテスト販売 ◎役員・評議員の一部交代 ◎ささえあい応援隊(vol.4)
第183号 9月15日	表紙：小学生体験学習交流活動 ◎移動販売の状況と買物ツアーの試行 ◎かざみどり活動報告 ◎福祉サービスのご案内	◎共同募金運動スタート ◎生活福祉資金特例貸付 ◎会費納入のお礼
第184号 11月15日	表紙：買物ツアー試行中 ◎買物ツアー運行中 ◎移送サービス・生活応援隊利用状況 ◎ボランティア活動はじめてみませんか	◎生活支援担い手養成研修 ◎介護に関する入門的研修 ◎福祉教育トピックス
第185号 1月15日	表紙：移送サービス運転ボランティア講座 ◎買物支援事業報告 ◎賛助・団体会員の紹介 ◎生活福祉資金制度案内	◎地域福祉プランの見直し ◎共同募金運動結果報告 ◎ささえあい応援隊(vol.5)
第186号 4月1日	表紙：サービス実施状況をお知らせ ◎買物支援事業スタート ◎社協の会費について ◎ありがとう記念花壇開園式開催	◎貸出用品の案内 ◎社会福祉士実習の受け入れ ◎ベルマークの活用について

### ③社協ホームページ等の運営

【ホームページ】社協の基本情報や最新情報を毎月15日に更新するとともに、広報紙等の掲載をしました。  
<http://ooi-shakyo.jp> でご覧いただけます。

【ブログ】リアルタイムな情報提供に努め、次のとおりブログで情報を発信しました。

- 5月15日 移動販売車の「テスト販売」実施！
- 5月25日 移動販売車の「テスト販売」金田・曾我地区 初日！
- 8月13日 “はじめの一步講座”参加しませんか？
- 9月24日 買物支援事業 第2弾「買物ツアー」9月24日スタート！
- 10月29日 国土交通省認定運転者講習会

### ④会員募集チラシの発行

名 称	部 数	配布先	内 容 等
社会福祉協議会会員募集案内	6,000部	町内の全世帯 賛助会員 団体会員	社協会員会費制度や会費の活用方法等を掲載し、社協活動の周知と会員加入の増強を目的として、7月の会員募集時に発行しました。

### ⑤会費事業の周知

社協会費を財源として行う事業の実施要綱・チラシ等印刷物に会費キャラクターを記載し理解促進を図っています。

### (7)福祉教育の推進

目 的	児童・生徒の福祉意識の高揚と、福祉をテーマとした総合的な学習の更なる導入を推進		
目 標	ふれあい教育普及校については、各校からの依頼を受け、講師を派遣し福祉教育を推進する。 サマーチャレンジセミナーについては、小学生120名、中学生15名以上の参加を得る	評 価	△

#### ①ふれあい教育普及校事業の実施

内 容	
新型コロナウイルス感染拡大防止により学校が臨時休校となったことなどから、例年開催していた連絡協議会は開催せず、各校の担当教諭を訪問し個別に情報提供等を実施しました。	
10月7日(水)	◎上大井小学校手話講座の開催へ向けて、講師派遣調整を行いました。

#### ②サマーチャレンジセミナーの開催

内 容
新型コロナウイルス感染拡大防止により、本事業を中止しました。

#### ③福祉作文の募集・発表

内 容
新型コロナウイルス感染拡大防止により、県福祉作文コンクールが中止となったため本事業を中止しました。

### (8)住民相互の関係づくり支援

目 的	小地域福祉活動・ボランティア等、ジャンルの異なる福祉活動を有機的に結び付け、既存の活動の効率化を図るためのネットワークを構築		
目 標	・ 行事用機材の貸し出しを通して地域コミュニティの推進 ・ ふれあい広場実行委員会開催支援を通して参加団体との連携強化 ・ チャリティーゴルフ実行委員会開催支援を通して関係者との連携強化	評 価	△

①行事用機材の貸出

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容																																																																																																									
コミュニティ活動推進用行事機材の貸出し	通 年	自治会等各種団体が開催する行事に機材の貸出を行いました。新型コロナウイルスの関係で、自治会の夏祭り等が中止となり貸し出し件数が大幅に減少しました。																																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機材の名称</th> <th>保有数</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>前年度対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロジェクター</td> <td>1台</td> <td>5件</td> <td>14件</td> <td>△ 9</td> </tr> <tr> <td>放送機材</td> <td>1セット</td> <td>3件</td> <td>18件</td> <td>△ 15</td> </tr> <tr> <td>ポップコーン機</td> <td>3台</td> <td>2件</td> <td>33件</td> <td>△ 31</td> </tr> <tr> <td>長机</td> <td>11台</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>テント</td> <td>7張</td> <td>1件</td> <td>13件</td> <td>△ 12</td> </tr> <tr> <td>輪投げ</td> <td>10セット</td> <td>1件</td> <td>15件</td> <td>△ 14</td> </tr> <tr> <td>ビンゴ</td> <td>1セット</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>高齢化擬似体験</td> <td>7セット</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>かき氷機</td> <td>3台</td> <td></td> <td>22件</td> <td>△ 22</td> </tr> <tr> <td>綿菓子機</td> <td>2台</td> <td></td> <td>27件</td> <td>△ 27</td> </tr> <tr> <td>グラウンドゴルフ</td> <td>7セット</td> <td></td> <td>7件</td> <td>△ 7</td> </tr> <tr> <td>着ぐるみ</td> <td>4体</td> <td></td> <td>4件</td> <td>△ 4</td> </tr> <tr> <td>鉄板</td> <td>2セット</td> <td></td> <td>1件</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>水槽</td> <td>2個</td> <td></td> <td>5件</td> <td>△ 5</td> </tr> <tr> <td>たこ焼き機</td> <td>1台</td> <td></td> <td>1件</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>炊飯器</td> <td>3台</td> <td></td> <td>4件</td> <td>△ 4</td> </tr> <tr> <td>発電機</td> <td>2台</td> <td></td> <td>2件</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>フライヤー</td> <td>1台</td> <td></td> <td>1件</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>ポッチャ</td> <td>1セット</td> <td></td> <td>12件</td> <td>△ 12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>16件</td> <td>186件</td> <td>△ 170</td> </tr> </tbody> </table>	機材の名称	保有数	令和2年度	令和元年度	前年度対比	プロジェクター	1台	5件	14件	△ 9	放送機材	1セット	3件	18件	△ 15	ポップコーン機	3台	2件	33件	△ 31	長机	11台	2件	2件	0	テント	7張	1件	13件	△ 12	輪投げ	10セット	1件	15件	△ 14	ビンゴ	1セット	1件	2件	△ 1	高齢化擬似体験	7セット	1件	3件	△ 2	かき氷機	3台		22件	△ 22	綿菓子機	2台		27件	△ 27	グラウンドゴルフ	7セット		7件	△ 7	着ぐるみ	4体		4件	△ 4	鉄板	2セット		1件	△ 1	水槽	2個		5件	△ 5	たこ焼き機	1台		1件	△ 1	炊飯器	3台		4件	△ 4	発電機	2台		2件	△ 2	フライヤー	1台		1件	△ 1	ポッチャ	1セット		12件	△ 12	合計		16件	186件	△ 170
機材の名称	保有数	令和2年度	令和元年度	前年度対比																																																																																																							
プロジェクター	1台	5件	14件	△ 9																																																																																																							
放送機材	1セット	3件	18件	△ 15																																																																																																							
ポップコーン機	3台	2件	33件	△ 31																																																																																																							
長机	11台	2件	2件	0																																																																																																							
テント	7張	1件	13件	△ 12																																																																																																							
輪投げ	10セット	1件	15件	△ 14																																																																																																							
ビンゴ	1セット	1件	2件	△ 1																																																																																																							
高齢化擬似体験	7セット	1件	3件	△ 2																																																																																																							
かき氷機	3台		22件	△ 22																																																																																																							
綿菓子機	2台		27件	△ 27																																																																																																							
グラウンドゴルフ	7セット		7件	△ 7																																																																																																							
着ぐるみ	4体		4件	△ 4																																																																																																							
鉄板	2セット		1件	△ 1																																																																																																							
水槽	2個		5件	△ 5																																																																																																							
たこ焼き機	1台		1件	△ 1																																																																																																							
炊飯器	3台		4件	△ 4																																																																																																							
発電機	2台		2件	△ 2																																																																																																							
フライヤー	1台		1件	△ 1																																																																																																							
ポッチャ	1セット		12件	△ 12																																																																																																							
合計		16件	186件	△ 170																																																																																																							

②ふれあい広場の開催支援

事業名称等	内 容 等
ふれあい広場の支援	4月26日(日)に予定していた第43回ふれあい広場は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

③チャリティーゴルフ大会の開催支援

事業名称等	期日・会場	目 的 ・ 内 容
第31回町民チャリティーゴルフ大会		10月8日(木)に予定していた第31回町民チャリティーゴルフ大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。
小委員会の開催	5月18日(月) 12月16日(水) 社協事務所	・第31回大会の開催について ・令和3年度の大会について

(9) 当事者活動への支援

目 的	当事者団体の主体的な活動支援と、支え合いのまちづくりに向けた取組を推進		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体への支援を通して、主体的な住民活動の促進</li> <li>関係団体の連携と協働の促進</li> </ul>	評 価	○

【高齢者事業】

①老人クラブ連合会への支援・協力

町老人クラブ連合会の事務局として役員会・各種行事の運営を担い、各種事業・関係機関との調整等を行いました。

事業名称等	目的・内容
役員会の開催	役員会を4回、三役会議を3回開催しました。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止措置を講じながら、次のとおり各種行事を開催しました。
各種スポーツ大会・文化活動への協力	主な内容は次のとおりです。 ◎パークゴルフ大会(10月20日) ◎足柄上ブロック友愛チーム研修会(10月30日) ◎グラウンドゴルフ大会(11月26日) ◎足柄上ブロックリーダー研修会(1月14日)※書面開催 ◎足柄上ブロックゆめクラブ大学(1月19日)※書面開催 ◎老連研修会(2月4日、3月4日)
その他	◎足柄上ブロック老人クラブ連絡協議会(10月8日、2月19日) 連合会長・事務局1名 出席

## ②敬老のつどいの開催等

事業名称等	目的・内容
敬老のつどい	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となりました。

## ③ともしびショップへの支援

事業名称等	期日等	目的・内容
ともしびショップ「ゆう」への支援	随時	保健福祉センターに設置しているともしびショップに対して、運営上の相談に随時応じるとともに、運営委員会にも参画し、運営の支援をしました。
監査 運営委員会	5月21日(木) 保健福祉センター 第1回 書面開催 第2回 12月15日(火)	・令和元年度事業報告・決算について  (1)令和元年度事業報告・決算報告について (2)令和2年度事業計画・予算について  (1)令和2年度の運営状況について
パソコンひろば大井の支援	7月8日(水) 8月12日(水) 9月9日(水) 10月14日(水) 11月11日(水) 12月9日(水)	パソコンに興味があっても、気軽に触れる機会が少ない障がいのある人などが、パソコンボランティアと一緒にパソコンに触れ、共に楽しむ体験会を定期的に行いました。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、7月から12月までの6回の開催となりました。 利用者延べ 11名 ボランティア延べ17名

## 【障がい者事業】

### ①アダプテッド・スポーツの会への支援

事業名称等	期日等	目的・内容
アダプテッドスポーツ支援	随時	知的障がい者と家族・ボランティアが、健康づくりと交流を目的に実施している会へ、体育館やプールの施設利用予約の手続きを支援していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、町施設の貸し出しが制限されたことから屋外での活動のみとなりました。

### ②「かざみどり」への支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は書面で行うとともに、定例会の開催を自粛しました。

### ③身体障害者福祉協会への支援

事業名称等	期日等	目的・内容
総会	7月16日(木) 保健福祉センター	◎令和元年度収支決算・事業報告 ◎令和2年度収支予算・事業計画

## 【各種福祉団体連携事業】

事業名称等	期 日 等	目 的	内 容
各種団体連携事業	通 年	随時、必要に応じて各種団体の活動や事業を支援しました。	◎老人クラブ連合会 ◎かざみどり ◎アダプテッドスポーツ ◎身体障害者福祉協会 ◎小地域福祉活動推進組織

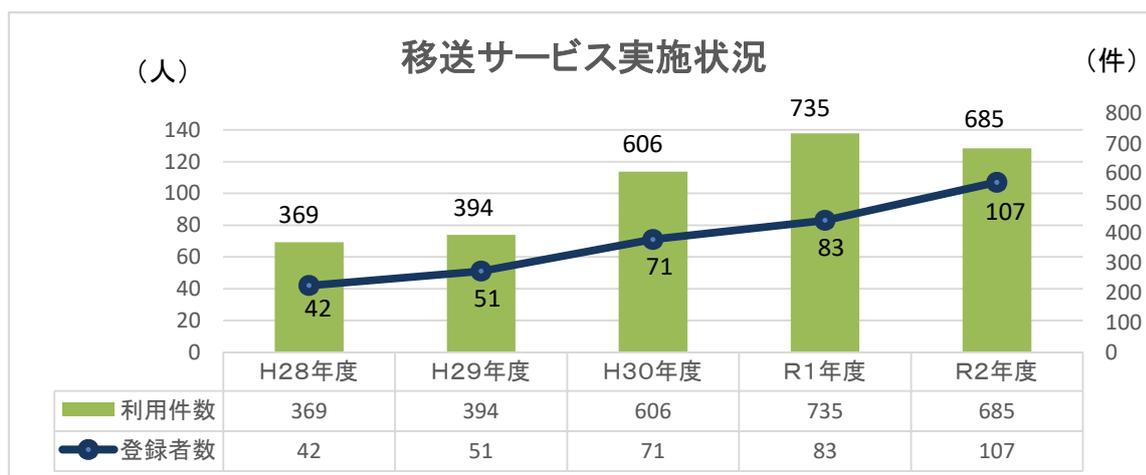
## 2. 在宅福祉サービス部門

生活応援隊の事業内容を見直し、支援メニューを大幅に拡充しました。近年、ゴミ出し支援ニーズなどが増加傾向にあったことと重なり、実施件数が増加しました。今後も増加が見込まれる生活支援ニーズに対応するためには、担い手の確保が大きな課題です。

### (1) 住民参加型在宅福祉サービス

目 的	住民の主体的な参加を促し地域の課題を解決する。また、その活動等を通して個別の課題を地域の課題として捉え、より主体的な活動を継続的に推進する		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移送サービスの利用者並びに運転ボランティアの拡充</li> <li>・レスパイトサービスの新規利用者とサポーターの拡充</li> <li>・生活応援隊の周知と支援件数の増</li> </ul>	評 価	◎

事業名称等	期 日 等	目 的	内 容
移送サービス事業	平日の8:30～17:15の間	要介護認定者や身体障害者手帳を所有していただける方等で、通院などの移動に困っている方を対象に、自宅から医療機関や福祉施設の間を福祉車両等を用いて、移送サービス運転スタッフが送迎しました。	<p>新型コロナウイルスへの感染を懸念し、自主的に通院を控える方がいたことや、緊急事態宣言下では通院を減らしていただくようお願いしたことから、件数的に前年度よりも若干減少しました。また、通院の支援ということから、新型コロナウイルス感染リスクが高く、ボランティアでの運行が困難であり、緊急事態宣言下は職員で送迎の対応をしました。</p> <p>車輦には、飛沫防護シートを設置するとともに、換気・アルコール消毒を慣行し感染防止に努めました。</p> <p>新規の利用登録者数が年々増加の傾向にありましたが、令和元年から2年度にかけても大幅に増加しています。</p>

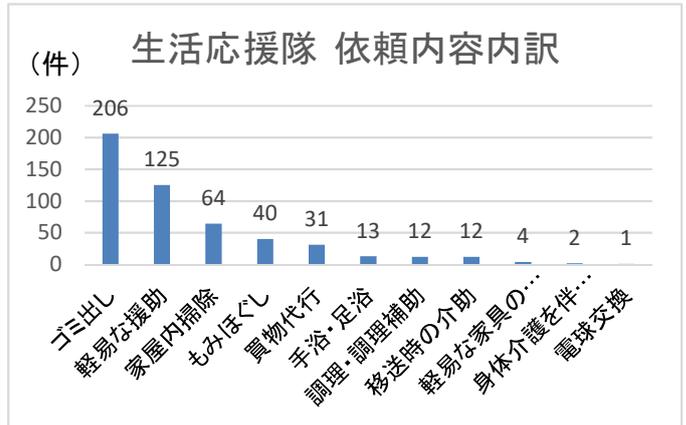


※H30年度から予約手続等の改善を図り実施しています。

事業名称等	期 日 等	目 的	内 容
レスパイトサービス事業			新型コロナウイルス感染拡大防止策により、会場の確保ができませんでした。また、利用者とボランティアのスキンシップやコミュニケーションが、密になる場面を回避できないことを総合的に判断し、令和2年度の活動を中止しました。

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
会食会		新型コロナウイルス感染拡大防止策により、会場の確保ができませんでした。また、会食並びに会食時の会話の際にマスクの着用が困難であり、感染リスクが高まることや送迎時の車内が密になることなどを総合的に判断し、活動を中止しました。

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容																						
生活応援隊	平日の8:30～ 17:15の間	ひとり暮らし高齢者等が地域で安心して生活ができるよう、日常でのちょっとした困りごとを地域の協力員が支援する有償のサービスです。 ゴミ出しなど、継続的な依頼内容が増えたことなどにより、利用件数が大幅に増加しました。  実施件数：510件(前年度同時期比較+490件) 登録協力員 32名  【支援状況】 <table border="0"> <tr> <td>◆ゴミ出し</td> <td>206件</td> <td>◆軽易な日常生活の援助</td> <td>125件</td> </tr> <tr> <td>◆家屋内の掃除</td> <td>64件</td> <td>◆もみほぐし</td> <td>40件</td> <td>◆買物代行</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>◆手浴・足浴</td> <td>13件</td> <td>◆調理</td> <td>12件</td> <td>◆移送時の介助</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>◆軽易な家具の移動</td> <td>4件</td> <td>◆身体介護</td> <td>2件</td> <td>◆電球交換</td> <td>1件</td> </tr> </table>	◆ゴミ出し	206件	◆軽易な日常生活の援助	125件	◆家屋内の掃除	64件	◆もみほぐし	40件	◆買物代行	31件	◆手浴・足浴	13件	◆調理	12件	◆移送時の介助	12件	◆軽易な家具の移動	4件	◆身体介護	2件	◆電球交換	1件
◆ゴミ出し	206件	◆軽易な日常生活の援助	125件																					
◆家屋内の掃除	64件	◆もみほぐし	40件	◆買物代行	31件																			
◆手浴・足浴	13件	◆調理	12件	◆移送時の介助	12件																			
◆軽易な家具の移動	4件	◆身体介護	2件	◆電球交換	1件																			



※令和2年度の6月にサービス内容を拡充しています。

## (2) その他の在宅福祉サービス

事業名称等	目 的 ・ 内 容						
福祉機器貸出事業	介護保険認定外の方を対象に、自立援助と介護者の負担軽減を図ることを目的に車いすを貸出しました。また、学校で行われる福祉教育の際にも貸出を行っています。  【貸出状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器の名称</th> <th>保有台数</th> <th>貸出件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車いす</td> <td>23台</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>	機器の名称	保有台数	貸出件数	車いす	23台	9件
機器の名称	保有台数	貸出件数					
車いす	23台	9件					

## 3. 相談支援事業部門

日常生活自立支援事業においては、現任者研修等へ積極的に参加し、担当職員・専門員等のスキルアップを図りました。

生活福祉資金においては、新型コロナウイルス感染症の関連で、特例緊急小口・特例総合支援資金の相談・申請が非常に多く対応に追われています。

### (1) 日常生活自立支援事業 (県社会福祉協議会受託事業)

目 的	認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者等を対象に、福祉サービスの利用契約等の手続や利用に伴う支払いなどの支援を行い生活の安定・質の向上を図る		
目 標	町包括支援センター等との連携を強化し、支援が必要な方との契約を迅速に行い支援に繋げる	評 価	◎

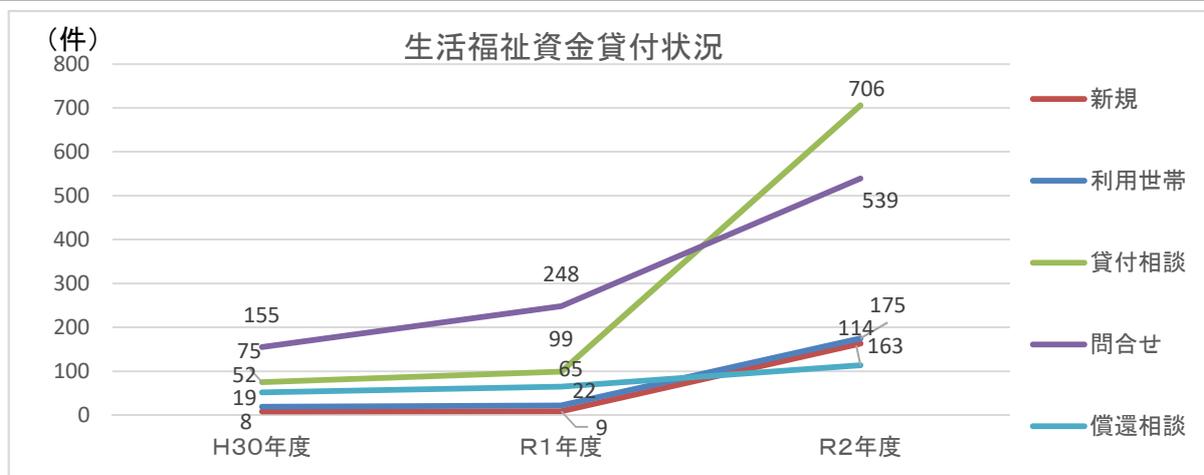
○新型コロナウイルス感染拡大防止策として、緊急事態宣言下では訪問する職員を事業担当職員及び専門員に限定して支援を行いました。  
 ○度重なる電話での相談に加えて、臨時支援の件数が大幅に増加しています。

事業名称等	事業概要																																																																																																																								
日常生活自立支援事業	<p>判断能力が不十分な高齢者・障がい者の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を行っています。</p> <p>3件の新規契約がありました。現在の利用者の内訳は、知的障がい者2名、認知症高齢者9名、精神障がい者6名、身体障がい者1名の計18名となります。</p> <p>月々の対象者別の問い合わせ・相談状況や相談援助の状況は次のとおりです。</p>																																																																																																																								
	<p>(件) 利用契約状況</p> <table border="1"> <caption>利用契約状況 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知症高齢者</th> <th>知的障がい者</th> <th>精神障がい者</th> <th>身体障がい者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	H28年度	2	2	4	2	H29年度	2	3	4	2	H30年度	3	3	5	1	R1年度	9	2	5	1	R2年度	9	2	6	1																																																																																								
年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者																																																																																																																					
H28年度	2	2	4	2																																																																																																																					
H29年度	2	3	4	2																																																																																																																					
H30年度	3	3	5	1																																																																																																																					
R1年度	9	2	5	1																																																																																																																					
R2年度	9	2	6	1																																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>前年度対比</th> <th colspan="2"></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>前年度対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">問い合わせ件数</td> <td>認知症高齢者</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>認知症高齢者</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>知的障がい者</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>精神障がい者</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>△1</td> <td>身体障がい者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">初回相談件数</td> <td>認知症高齢者</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>△1</td> <td>計</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>△1</td> <td>新規契約</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>契約終了</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>△1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">相談援助件数</td> <td>認知症高齢者</td> <td>618</td> <td>410</td> <td>208</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>596</td> <td>294</td> <td>302</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>617</td> <td>496</td> <td>121</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>身体障がい者</td> <td>158</td> <td>83</td> <td>75</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>2,001</td> <td>1,295</td> <td>706</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					令和2年度	令和元年度	前年度対比			令和2年度	令和元年度	前年度対比	問い合わせ件数	認知症高齢者	5	2	3	認知症高齢者	9	9	0	知的障がい者	0	0	0	知的障がい者	2	2	0	精神障がい者	3	2	1	精神障がい者	6	5	1	身体障がい者	0	1	△1	身体障がい者	1	1	0	初回相談件数	認知症高齢者	3	4	△1	計	18	17	1	知的障がい者	0	1	△1	新規契約	3	5	△2	精神障がい者	1	1	0	契約終了	2	2	0	身体障がい者	0	1	△1					相談援助件数	認知症高齢者	618	410	208					知的障がい者	596	294	302					精神障がい者	617	496	121					身体障がい者	158	83	75					合計		2,001	1,295	706				
		令和2年度	令和元年度	前年度対比			令和2年度	令和元年度	前年度対比																																																																																																																
問い合わせ件数	認知症高齢者	5	2	3	認知症高齢者	9	9	0																																																																																																																	
	知的障がい者	0	0	0	知的障がい者	2	2	0																																																																																																																	
	精神障がい者	3	2	1	精神障がい者	6	5	1																																																																																																																	
	身体障がい者	0	1	△1	身体障がい者	1	1	0																																																																																																																	
初回相談件数	認知症高齢者	3	4	△1	計	18	17	1																																																																																																																	
	知的障がい者	0	1	△1	新規契約	3	5	△2																																																																																																																	
	精神障がい者	1	1	0	契約終了	2	2	0																																																																																																																	
	身体障がい者	0	1	△1																																																																																																																					
相談援助件数	認知症高齢者	618	410	208																																																																																																																					
	知的障がい者	596	294	302																																																																																																																					
	精神障がい者	617	496	121																																																																																																																					
	身体障がい者	158	83	75																																																																																																																					
合計		2,001	1,295	706																																																																																																																					

(2)生活福祉資金貸付事業 (県社会福祉協議会受託事業)

目的	低所得世帯や高齢者・障がい者世帯などを対象に、一時的に資金を貸し付けることを通じて、世帯の自立支援を図る		
目標	相談支援体制の強化と関係機関との連携を強化する。既存借受者の償還管理や督促等を適宜実施	評価	◎

事業名称等	目的・内容
生活福祉資金の貸付	<p>低所得世帯、障がいがある方や要介護高齢者が同居する世帯。また、令和2年当初に発生した新型コロナウイルスに関係し、減収した世帯に対して資金を貸し付けることによって経済的自立や背景にある生活問題の解決等に向けて支援を行いました。</p> <p>【貸付状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規申請(貸付) 164件(163件)</li> <li>    &lt;&lt;既存の貸付事業&gt;&gt;</li> <li>    ○緊急小口資金 2件   ○教育支援資金 1件(0件)   ○福祉資金 1件</li> <li>    &lt;&lt;新型コロナウイルスに関する貸付事業&gt;&gt;</li> <li>    ○特例緊急小口資金 77件   ○特例総合支援資金 53件</li> <li>    ○特例総合支援資金延長貸付 19件   ○特例総合支援資金再貸付 11件</li> <li>●利用世帯 91世帯 175件</li> <li>●貸付相談 706件</li> <li>●制度内容等問い合わせ 539件</li> <li>●償還相談 114件</li> </ul>



### (3) 相談事業

目的	これまでの相談の概念に捉われない、問題の把握から解決、また、予防までを視野に困りごとを受けとめ対応する		
目標	・社協事務局内をはじめ、関係者・機関と総合相談の共通認識の共有を図る	評価	○

#### ①福祉相談窓口の設置

事業名称等	期日等	目的・内容
福祉相談窓口	随時	住民からの福祉に関する相談、生活上の心配事等について随時受け付け、情報提供を行っています。

### (4) 成年後見制度

目的	認知症や知的・精神に障がいのある方は、契約を前提とする社会のしくみの中で、大変生活しづらくなっており、住み慣れた地域で生活するためには、権利擁護の充実が求められています。そこで、本会が成年後見人等となり、その方の判断能力を補い、権利を擁護し、安心して生活できるようにします。		
目標	令和3年度中に受任体制を整備することを目標に、準備委員会等を定期的に開催し準備を進める。	評価	◎

認知症、知的障がい、精神障がい等によって判断能力が十分ではなく、契約や財産の管理等をすることが難しい方に対して、権利を擁護し、安心して生活できるように法人後見事業の実施へ向けて準備を進めました。

事業名称等	期日・会場	内 容 等
先駆的に取り組んでいる社協等の視察	6月11日(木) 松田町健康福祉センター 6月19日(金) 社協事務所 7月2日(木) 南足柄市りんどう会館	・松田町社協視察  ・神奈川県社協との打ち合わせ  ・南足柄市社協視察
法人後見事業に関する情報収集	8月21日(金) 9月25日(金) 保健福祉センター	福祉課との打ち合わせ
ニーズ把握調査	9月～10月	<p>本会における法人後見事業の受任体制に向け、本町の成年後見制度の利用状況、ニーズ把握及び地域との連携体制や課題を把握することで、スムーズな事業実施に向けた体制整備を図ることを目的に実施した。</p> <p>(1)調査方法 調査票を配布しご記入いただいた上で、訪問し直接聞き取り回収を行った。</p> <p>(2)調査対象 町内の高齢者、障がい者に福祉サービスを提供している事業所等22か所</p>
立ち上げ検討委員会の開催		立ち上げ検討委員会の設置に向け、委員の選任について協議し依頼した。
	12月16日(水) 生涯学習センター	<p>第1回立ち上げ検討委員会</p> <p>(1)委員長並びに職務代行者の選任について</p> <p>(2)法人後見事業の方向性</p> <p>(3)ニーズ調査の内容</p> <p>(4)今後に向けた課題の整理について</p>
	3月25日(木) 生涯学習センター	<p>第2回立ち上げ検討委員会</p> <p>(1)県内市町村社協の法人後見事業実施状況について</p> <p>(2)基本的考え方及び検討課題について</p> <p>(3)今後のスケジュールについて</p>
役員等の成年後見制度に対する理解を深めるための研修	7月30日(木)31日(金) 社協事務所	<p>第1回法人後見担当者基礎研修</p> <p>①テーマ「成年後見制度概論」 成年後見制度の誕生、成年後見制度の概要 講師 弁護士 内嶋順一氏</p> <p>②テーマ「後見人の実務と法人後見の選任に際して」 ・「成年後見人Q&amp;A」をもとに後見人の実務について学ぶ ・法人後見の選任にあたっての要件等 ・後見監督の視点について 講師 横浜家庭裁判所</p> <p>③テーマ「市町村社協の法人後見について」 講師 横浜市社協、南足柄市社協</p> <p>動画配信による研修、職員7名が受講</p>
	9月16日(水)17日(木) 社協事務所	<p>第2回法人後見担当者基礎研修</p> <p>①テーマ「地域福祉としての法人後見の意義」 講師 社会福祉士 田中晃氏</p> <p>②テーマ「認知症の理解」 講師 医師 吉田勝明氏</p> <p>③テーマ「知的障がい、精神障がいの理解」 講師 臨床心理士 諏訪部政好氏</p> <p>④テーマ「任意後見制度と関連する契約について」 講師 司法書士 岩屋口智栄氏</p> <p>動画配信による研修、職員7名が受講</p>

## 4. 介護保険等事業部門

令和元年度末で休止した介護保険等事業について、内部での検討を重ねるとともに、介護保険事業関係機関の参加を得て検討会を開催しました。

人員体制の確保並びに独立採算の目途が立たず、9月末でケアセンター事業を廃止しました。

### (1) ケアセンター事業の見直し

目的	4月から6か月間の休止となるケアセンターの再開へ向けて、現状と課題の整理をするとともに、対策を検討する。		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の再開へ向けた協議・検討</li> <li>・介護保険事業関係者の参加を得て「ケアセンター事業検討会」を開催する</li> <li>・人員基準を満たすための介護人材確保</li> </ul>	評価	△

新型コロナウイルスの関係で、「見直し検討会」を十分に開催することができませんでした。検討会開催までの間、内部での検討を重ねるとともに近隣社協へ視察・情報収集も行いました。事業所の再開へ向けては、訪問型サービスAなどの新たな取組についても視野に入れ様々な可能性を模索しましたが、介護保険事業としても大きな課題でもある「介護人材不足」により、人員体制の整備ができないことと、経営の目途が立たないことなどから、検討会での協議結果を踏まえ理事会で「事業所廃止」の決断に至りました。

### ① 検討の経過等

会議等の名称	期日・会場	内容等
局内検討会	4月15日(水) 22日(水) 27日(月) 5月15日(金) 29日(金) 6月22日(月) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開へ向けた事業形態の検討</li> <li>・介護予防に特化した、新規事業(訪問型サービスA)の検討</li> <li>・サービス提供時間等の拡充へ向けた検討</li> <li>・依頼を断らない姿勢とそのための受け皿</li> <li>・独立採算による経営について、収支の見通し(積算等)</li> <li>・今期予算の確保(補正)</li> <li>・他事業所との相違点(社協が介護事業に参入する意義)</li> <li>・2月～6月までの間の、予防事業の状況確認(町福祉課)</li> </ul>
視察	4月9日(木) 小田原市社協	<ul style="list-style-type: none"> <li>□介護保険事業(訪問型サービスA)の経営状況等ヒアリング</li> <li>・訪問型サービスAの運営状況について</li> <li>・訪問型サービスAの課題等について</li> </ul>
ケアセンター事業検討会	8月17日(月) 生涯学習センター	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社協ケアセンターの現状と課題について</li> <li>2) 今後の方向性について</li> </ol>

#### 【取組状況・課題】

□ケアセンター事業改善計画を策定し、令和元年度から各種加算の取得及びサービス提供日の拡大による増収並びに支出の削減等の目標を掲げて取り組んだ。

□令和元年度、2つの加算の取得により増収となったものの収支決算では大幅な赤字となった。

□職員体制整備については、常勤職員を1名増員しサービス提供日・時間の拡大へ向けて取り組んだものの、令和元年度末には2名の職員が退職し、訪問介護事業所としての人員基準を満たさなくなった。

□令和2年度4月から6ヶ月間事業所を休止した。

□訪問介護事業は、人員基準として常勤換算2.5人という基準がある。介護業界全般に人員不足となっており、募集しても応募が無い、又は未経験者の応募が多く、不安定要素が強い。現実的に訪問介護の人員基準常勤換算2.5人が確保できない。

□社会福祉協議会の介護事業は、法人業務と同様に、ほぼ当該市町のみをエリアとしていることもあり対象者数が制限される。

□訪問介護事業者の数が増えていることや他の介護事業所は居宅介護支援事業等を併設していることが多く、訪問介護事業のみでの介護保険事業の経営は非常に困難である。

#### 【総括】

□平成19年度から通算37,536,289円の赤字となり、社会福祉基金を取り崩して充当していたが、残額が大幅に減少し、財源確保が困難となる。加えて、独立採算・黒字経営の見込が立たないため、再度立ちあげても、数年の間に廃止に至る可能性が非常に高い。

□休止の間、再開へ向けて内部での検討を重ねるとともに、介護保険事業関係者の参画を得て検討会を開催し協議を行ったが、予算の確保及び収支面での目途が立たないことと、加えて人員体制が整わないことなどから、理事会にて廃止の決定に至った。

## 5. 法人運営部門

- 新型コロナウイルス感染拡大防止により、理事会並びに評議員を書面で決議を行いました。
- 研修会等の開催が中止・延期されたことなどにより、資質向上等の取組が予定どおりに図れませんでした。

### (1)組織運営の充実

目 的	社会福祉法人制度改革を踏まえ、理事会・評議員会機能の強化を図る。 理事会においては、協議体、運動体機能をより発揮するための運営の充実を図る		
目 標	・理事会・評議員会等会議運営を通じた組織運営の充実 ・正副会長会議を随時開催	評 価	△

#### ①理事会の開催

執行機関である理事会を書面決議で2回行うとともに1回開催し、議案はすべて承認されました。

回	期 日	議 題
1	5月25日(月) 議決があったと みならず日(全役員 同意書提出)	【提案内容】 ○令和元年度事業報告について ○令和元年度収支決算について ○理事及び監事候補者の推薦について ○評議員会の開催について ○評議員候補者の推薦について ○評議員選任・解任委員会の開催について
2	8月24日(月) 保健福祉セン ター	【協議内容】 ◆社協ケアセンターについて ◆福祉みんなのつどいについて ◆ボランティアフェスティバルについて ○理事8名/11名 ○監事2名/3名出席
3	3月22日(月) 議決があったと みならず日(全役員 同意書提出)	【提案内容】 ○定款細則の制定について ○役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の制定について ○令和3年度事業計画について ○令和3年度収支予算について ○評議員会の開催について ○理事10名/12名 ○監事2名/3名出席

#### ②正副会長会議の開催

理事会等の開催前の事前協議の場として開催しました。

回	期 日	議 題
1	7月9日(木) 1月26日(火) 3月11日(木) 社協事務所	○社協ケアセンターについて ○会議・事業の取り組み状況について ○令和3年度事業計画・予算について

#### ③評議員会の開催

議決機関である評議員会を書面決議で2回行いました。

回	期 日	議 題
1	6月28日(日) 議決があったと みならず日(全評議 員同意書提出)	【提案内容】 ○令和元年度事業報告について ○令和元年度収支決算について ○理事・監事候補者の推薦について ○理事・監事の選任について
2	3月30日(火) 付議事項に関す る質問等に対す る回答日(同意書 提出29名/30 名)	【提案内容】 ○役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の制定について ○令和3年度事業計画について ○令和3年度収支予算について

#### ④監事会の開催

監事会を2回開催し、予算・業務の執行状況監査を受けました。監査の結果、適正に処理されていると認められました。

回	期日・会場	議 題
1	5月13日(水) 社協事務所	(1) 令和元年度業務執行状況の監査 (2) 令和元年度収支決算監査 ○監事2名/3名出席
2	11月18日(水) 社協事務所	(1) 令和2年度前期業務執行状況の監査 (2) 令和2年度前期予算執行状況監査 ○監事3名/3名出席

#### ⑤評議員選任解任委員会の開催

評議員の選出母体からの変更の申し出に伴ない、新たな評議員の選任を行うため開催しました。

回	期日・会場	議 題
1	6月26日(金) 社協事務所	【審議事項】 ●評議員の選任について ○委員3名/3名出席

### (2)財務管理、財源の確保

目 的	基本的な法人運営における補助金確保は喫緊の課題であり、これまでの方法にとどまらない自主財源確保の方法など、理事会での協議を踏まえ計画的に取り組む		
目 標	・一般・賛助・団体会費への理解促進 ・収益事業の拡充による活動財源の確保	評 価	△

#### ①会員加入の促進

会員募集は、全世帯加入を目標に自治会関係者等の協力をお願いしましたが、組長会議等の開催が例年どおりにされなかったことから、会費の説明会は1自治会のみとなりました。一般会費は、コロナウィルスの影響を踏まえ例年より納入依頼のタイミングを遅らせるとも期間を延長しました。また、賛助会員や団体会員においては、ダイレクトメールにより依頼をしました。

会員区分	会費 (年額)	加入世帯数等		金額		
			前年度		前年度	
一般会員	一口 500円	4,453世帯	4,469	3,639,500円	3,640,000円	
団体会員	一口 500円	19団体	21	103,500円	116,500円	
賛助会員	一口 5,000円	101社	101	716,000円	724,000円	
合計					4,459,000円	4,480,500円

#### ②会費説明会

社協の事業と社協会費の理解を図るため、自治会の組長会議で説明会を開催しました。また、会費の資料をお届けした際にも随時説明を行いました。なお、令和2年度はコロナウィルス感染症の影響により組長会議が行われない自治会が多く、1か所のみとなっています。

回	期 日	会 場	議 題
1	7月12日(日)	市場自治会館	(1) 社協事業について (2) 会費について

#### ③企業広告の掲載

広報紙に企業広告を掲載し広告掲載料をいただきました。

協力企業数	広 告 掲 載 料
8社	120,000円

#### ④社会福祉基金の造成等

社会福祉基金の保有額が2千万円余りとなり、今後も法人運営事業に基金原資を投入する状況にあります。残高の底が見えてきていることから、社協として主体的に事業展開を行うことも想定し、一定の残高を保有しておく必要があります。

項 目	金 額
令和2年3月31日現在積立累計額	20,928,726 円
令和2年度積立額	30,000 円
令和3年3月31日現在積立累計額	20,958,726 円
令和2年度分基金利息額	128,117 円

#### ⑤寄附金の受け入れ

町民の方々より寄せられた寄附金品とその配分等は次のとおりでした。

##### 【金員】

区 分	件 数	金 額	説 明
一般寄附	22	220,969円	一般寄附金として
指定寄附	1	200,000円	
善意の募金箱	11	37,578円	町内の商店などに設置させていただいている募金箱への寄附
合 計	34	458,547円	

##### 【物品】

物 品 名	件 数	配 分 等 の 説 明
手作りマスク(768枚)	3	高齢者施設、保育園、移送ボランティア・利用者等
使い捨てマスク(298枚)	3	"
フェイスシールド(280枚)	2	子育て健康課、ふくしの会、ボランティア等
タオル・雑巾・布等(9箱、3袋)	1	小・中学校等
小型車いす(中古)	1	
合 計	10	

#### ⑥新規補助事業獲得へ向けた取組

事業の名称	期 日 等	内 容 等
心の健康づくり計画助成金		メンタルヘルス対策促進員の助言・支援を受けて、心の健康づくり計画を作成し、計画を踏まえメンタルヘルス対策を実施した際に10万円の助成が受けられる制度。
心の健康づくり計画策定	3月5日(金)	福祉や介護の仕事は、“感情労働”に分類され、感情を酷使しながら業務にあたっており、メンタルヘルスの不調を招きやすい状況にあるなかで、職場の環境改善の第1歩として本計画を策定しました。
ライン研修	3月25日(木) 社協事務所	テーマ:メンタルヘルス講座「管理監督者研修」 講 師:永島直美氏(神奈川産業保健総合支援センター) 管理監督者研修を開催し5名参加しました。

#### (3)職員の連携強化・資質の向上

目 的	在宅福祉サービス部門と地域福祉推進部門等の連携強化と個々の職員の専門性向上により、総合的な生活支援の体制をつくる		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門会議並びに職員全体会議の開催</li> <li>・研修会等への参加促進</li> <li>・職場環境改善の取組(心の健康づくり計画助成金取得) ※再掲</li> </ul>	評 価	○

### ①職員間ミーティングの拡充

毎朝、職員間の情報共有を目的にミーティングを実施し、連携強化を図りました。  
また、必要に応じてスタッフ会議を開催し、個別課題の検討等を行っています。

### ②部門別会議の開催

部門毎に関連する担当職員が、事業の実施状況や課題などを調整・検討する場として随時開催しました。

会議の名称	期日・会場	内 容 等
在宅福祉サービス・地域福祉部門会議	6月18日(木) 社協事務所	◎令和2年度の事業展開について (会食会・移送サービス・生活応援隊) ◎福祉みんなのつどい・ボランティアフェスティバルについて
在宅福祉サービス部門会議	8月27日(木) 12月10日(木) 1月26日(火) 社協事務所	◎生活応援隊について ◎移送サービスについて ◎買物支援事業の本実施について

### ③各種研修会・会議への参加

各種サービスや業務の充実を図るために研修会等に参加し資質向上に努めました。

回	区 分	期日・会場	内 容 等
1	日常生活自立支援事業初任者研修	6月12日(金)、16日(火)、25日(木)  動画配信によるオンライン研修	・日常生活自立支援事業創設背景と事業概要 ・生活支援員の業務の理解 ・本事業における法律基礎知識 ～契約、リスクマネジメント～ ・専門員の業務について 専門員・生活支援員延べ9名参加
2	足柄上郡障がい者レクリエーション大会実行委員会	7月9日(木)  2月12日(金) 山北町社協	・本年度の開催の有無について  ・足柄上郡障がい者レクリエーション大会について
3	生涯学習推進委員会会議	7月29日(水)  9月8日(火)  1月14日(木)  3月24日(水) 生涯学習センター	・第4次大井町生涯学習推進計画の策定にかかわることについて ・今年度の各課の取組状況と課題について  ・第4次大井町生涯学習推進計画の策定について ・今後の活動計画について
4	大井町総合計画審議会	7月15日(水) 11月2日(月)	・(仮称)大井町第6次総合計画(素案)について ・大井まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について ・パブリックコメントへの回答について
5	大井町地域公共交通会議	7月29日(水) 12月21日(月) 3月23日(火) 役場	・令和2年度事業計画及び予算について ・大井町地域公共交通網形成計画策定等について ・大井町地域公共交通網形成計画素案について
6	法人後見実施社協連絡会	9月1日(火) ZOOM会議	・法人後見事業実施状況について ・協議、情報提供を求めたい事項
7	ボランティアセンター等担当職員研修会	9月3日(木) 県社会福祉会館	・報告・課題提起 ①令和元年度かながわボランティアセンター事業報告 ②包括的支援体制における「社協の総合相談」について ・情報交換 ①コロナ禍における各ボランティアセンターの対応について

回	区 分	期 日 ・ 会 場	内 容 等
8	中核機関・市町村 成年後見担当 職員研修会	9月15日(火) 県立国際言語文化アカ デミア	・成年後見制度の概要 講師 弁護士 石田逸人氏 ・市町村申立ての具体的な手続方法 講師:横浜家庭裁判所 鈴木大輔氏 ・申立書の書き方の実際 講師:司法書士 岩屋口智栄氏
9	成年後見制度利 用促進連絡協議 会	10月21日(水) 県立国際言語文化アカ デミア	・事例報告 ・市町村の利用促進の取組に関する協議・意見交換 ・家庭裁判所からの情報提供 ・家庭裁判所・専門職団体の取組に関する協議・意見交換
10	日常生活自立支 援事業専門員ブ ロック会議	12月18日(金) 小田原市社協	・日常生活自立支援事業 標準利用料の考え方について ・新型コロナウイルス感染症まん延下における支援について
11	日常生活自立支 援事業管理監督 者研修	12月25日(金) 動画配信	・日常生活自立支援事業における日々の業務の「つながり」から 見えるリスクマネジメントの重要性 講 師 弁護士 千木良 正氏
12	成年後見制度利 用促進・地域連 携ネットワーク講 座	1月21日(木) ZOOM配信	・地域共生社会における権利擁護支援 ・権利擁護を基盤とした地域連携ネットワークの構築に向けて
13	社会福祉士指導 者講習会	1月28日(木)、29日 (金) 高崎福祉医療カレッジ 横浜校	◎実習マネジメントについて ◎実習プログラミング論について ◎実習スーパービジョン論について
14	災害担当者等情 報交換会	2月4日(木) ZOOM配信	【レポート】 ◎川崎市災害ボランティアセンターの実践について ◎相模原市災害ボランティアセンターの実践について 【講義】 ◎災害時及び災害VCにおける情報管理とICTの活用について 講師:柴田哲史氏(サイボウズ災害支援チームリーダー)
15	小山町災害時対 応研修	2月7日(日) ZOOM配信	【第1部】イントロダクション 【第2部】令和元年度の災害及び支援活動について 【第3部】令和2年度の災害及び支援活動について ◎グループワーク
16	生活支援コーデ ィネーターフォロ アップ研修	2月15日(月) ZOOM配信	テーマ:共感を育む関係づくり 講 師:室田信一(東京都立大学人文社会学部准教授) 内 容:生活支援のコーディネートについて

#### (4)地域福祉推進のためのネットワーク

目 的	各種団体との連携強化を図るとともに、新たなネットワークづくりへ向けた協議体等へ積極的に参加		
目 標	・町協議体との連携強化 ・町議会・民生委員児童委員会等との連携強化	評 価	△

#### ①関係機関・団体との連携

福祉ニーズの把握や問題解決への調整・協働や効率的な事業の実施等、関係機関・団体との連絡・調整、運営への参画に努めました。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
民生委員児童委員協議会との連携	通 年	定例の民生委員児童委員協議会へ参加し、社協事業の周知や協力依頼、住民の生活問題の把握・共有などの連携強化に努めました。
足柄上地区社協連絡会への参画	通 年	足柄上地区1市5町の社協で連絡会を組織し、会長会・事務局長会・職員会の担当制を以て各種の協働事業を実施するとともに会議を開催し連絡調整を図りました。
幹事会	書面による決議 決議日 4月24日(金)	◎令和元年度事業報告・決算報告 ◎令和2年度事業計画(案)・予算(案)
事務局長・担当職員合同部会	7月9日(木) 10月29日(木) 2月16日(火)  開成町福祉会館	◎地域福祉担当職員会議について ◎役員合同研修会について ◎災害ボランティアセンター担当職員会議について ◎日常生活自立支援事業担当職員会議について ◎足柄後見センターの共同設置について
地域福祉担当職員会議	7月20日(月) 9月9日(水) 11月4日(水) 南足柄市りんどう会館	◎令和2年度の会議の持ち方について ◎地域福祉実践交流研修会の開催について ◎地域福祉実践交流研修会の代わりとなる取組について ◎情報交換 ◎地域福祉実践交流研修会活動報告書について
生活支援コーディネーター実務者情報交換会	9月30日(水)  南足柄市りんどう会館	・各市町での取組状況について ・情報交換
日常生活自立支援事業担当者会議	8月6日(木)  2月22日(月) 松田町健康福祉センター	◎事例検討(山北町、大井町) ◎今年度日常生活自立支援事業担当職員会議の持ち方について ◎各町の実施状況について ◎契約締結審査会について
災害ボランティアセンター担当職員会議・研修会	7月29日(水) 9月18日(金) 11月13日(金) 3月29日(月) 開成町福祉会館	◎令和2年度の取組について ◎職員研修について ◎コロナ禍での災害ボランティアセンターの運営について ◎令和3年度の担当者会議の持ち方について
南足柄市地域支援事業担い手養成研修会視察	10月28日(水)  南足柄市文化会館	◎地域福祉に関する講演会 ◎おたがいさまネットみなみ活動報告
松田町社協生活支援コーディネーターフォローアップ研修C	12月23日(水) 2月1日(月) 3月8日(月) 松田町健康福祉センター、大寺地域集会施設	◎買物支援事業企画(案)について ◎現地視察 ◎アドバイザーからの助言 ◎「買物支援事業」に関する地域座談会
西湘ブロック社協ボランティア担当職員会議	8月5日(水) 11月9日(月) 社協事務所・真鶴町琴ヶ浜研修センター	◎令和元年度の各ボランティアセンター事業について ◎令和2年度の各ボランティアセンター事業について ◎ボランティアセンターの課題共有 ◎災害ボランティアセンターの広域連携について
地域けあねっとわーく会議	7月20日(月) 9月14日(月) 3月15日(月) 保健福祉センター	◎事例検討 ◎新型コロナウイルス感染症拡大予防に関する対応について ◎災害時安否確認の情報提供協力に関する指針について ◎大井町土砂災害・洪水ハザードマップを活用した防災対策
要保護児童対策地域協議会実務者会議	7月2日(木) 11月19日(木) 保健福祉センター	◎閉止案件について ◎新規案件について ◎継続案件について
協議体	9月28日(月) 2月10日(水) 3月23日(火) 保健福祉センター	◎令和2年度の生活支援コーディネーターの取組について ◎生活支援担い手養成研修について ◎買物ツアー実施報告 ◎令和3年度の買物支援への取組について

②共同募金会大井町支会の運営

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容 等
共同募金運動との連携 (団体事務)	通 年	当協議会が共同募金会大井町支会として募金運動を実施しています。
支会事務局長会議	11月6日(金) 県社会福祉会館	◎令和2年度の共同募金運動について
県央、西湘地区支会 事務担当職員会議	7月31日(金) 県社会福祉会館	・令和2年度共同募金運動について

赤い羽根募金は10月1日(木)~12月31日(木)まで。年末たすけあい募金は12月1日(火)~12月31日(木)まで実施しました。それぞれの募金額は次のとおりです。

内 容	金 額	備 考
募金総額	3,277,787 円	
赤い羽根募金	1,965,695 円	
戸別募金	1,541,040 円	4,835世帯
街頭募金	16,853 円	5か所
法人募金	174,700 円	43社
職域募金	29,185 円	3か所
校内募金	2,612 円	2校
募金箱	31,717 円	18か所
自動販売機	169,588 円	
年末たすけあい募金	1,312,092 円	
戸別募金	1,201,071 円	4,835世帯
その他の募金	111,021 円	托鉢募金等

- 街頭募金実施場所5か所  
 ・ヤオマサ大井町店 ・あしがらモール ・ミマスモール  
 ・ローリー ・NEC湘南テクニカルセンター